

※オンライン形式のもと開催します。

・定員は80名とし、先着順のもと個人会員と特別会員から受講者を募集します。

ただし、特別会員を優先して受け付けます。参加人数に余裕が生じる際は非会員の方も受け付けます。

・土木学会のCPDプログラムに認定されています。ご必要の方には所定の作業の終了後に土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付しますが、他団体への単位申請が認められないケースがあるとのことです。他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・後日、会員限定のもと当日のビデオ撮影版を配信します。

~~~~~  
令和3年2月3日

各 位

軟弱地盤研究会（第165回）のご案内

軟弱地盤研究会  
会長 日野剛徳

日 時：令和3年2月26日（金）14時～16時

場 所：Microsoft Teams

話 題：軟弱地盤対策としての敷金網工法～ひし形金網による盛土底面の剛盤化～

講演者：基礎地盤コンサルタント（株）九州支社 支社長 白井 康夫 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

「敷金網」工法とは「敷網」工法の一種であり、ジオシンセティックス工法と同様に盛土底面にひし形金網を敷くことによって盛土を補強する軟弱地盤対策工法である。この工法は、一般的にはすべり対策に用いられるものであるが、ここでは変形抑制対策としての同工法を紹介する。具体的には、盛土底面に盛土材とひし形金網を互層状に施工し、盛土底面の側方への広がりを拘束して、盛土周辺地盤や構造物への影響を低減できることを紹介する。また、そのメカニズム、簡易設計法についても紹介する。この工法は、これまでに経験上の効果は認められるものの、そのメカニズムや設計法が確立されていないため、近年の使用例は多くない。有明海沿岸地区における盛土工事の安全、安心、安価な工法としての同工法の存在意義を高める。

※参加申込について

参加希望の方は2/19（金）・12:00までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費について

当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費（1,000円）が必要です。後日請求書をお送りしますので指定の口座にお振込みください。

※参加証明書について

土木学会のCPDプログラムに認定されています。

ご必要の方には研究会の終了後にMicrosoft Formsを用いて下記の各項目に関するご回答をいただきます。内容確認でき次第、参加証明書をお送りします。なお、コピー&ペースト類似度チェックツールを用いてご回答の内容を照合し、コピー&ペーストと判断されたご回答については参加証明書を発行いたしかねますので、くれぐれもご注意の上、ご自身のご理解によりご入力ください。

- a) ご氏名
  - b) おふりがな
  - c) ご所属先
  - d) ご役職
  - e) ご所属先郵便番号（兼・参加証明書郵送先）
  - f) ご所属先住所（兼・参加証明書郵送先）
  - g) ご所属先 TEL
  - h) ご所属先 FAX
  - i) 講演内容のポイント（最低 100 文字）
  - j) 講演内容に関する質問・感想（最低 100 文字）
  - k) その他
- =====

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

Tel:0952-26-1668/Fax:0952-26-1669

〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸 3182

(公財) 佐賀県建設技術支援機構内

=====